

2023年 1 月期 決算説明会

株式会社 シーイーシー

2023年 3 月15日

1. 2023年1月期 経営成績

2. 中期経営計画進捗状況

3. 2024年1月期 業績見通し

2023年 1 月期 經營成績

前年および業績予想比較

- 顧客のICT投資はDX領域やセキュリティ対策などの分野が活性化し商談数は増加。
- 当期純利益は2Qで投資有価証券の売却益を特別利益に計上し、**過去最高益**を更新。

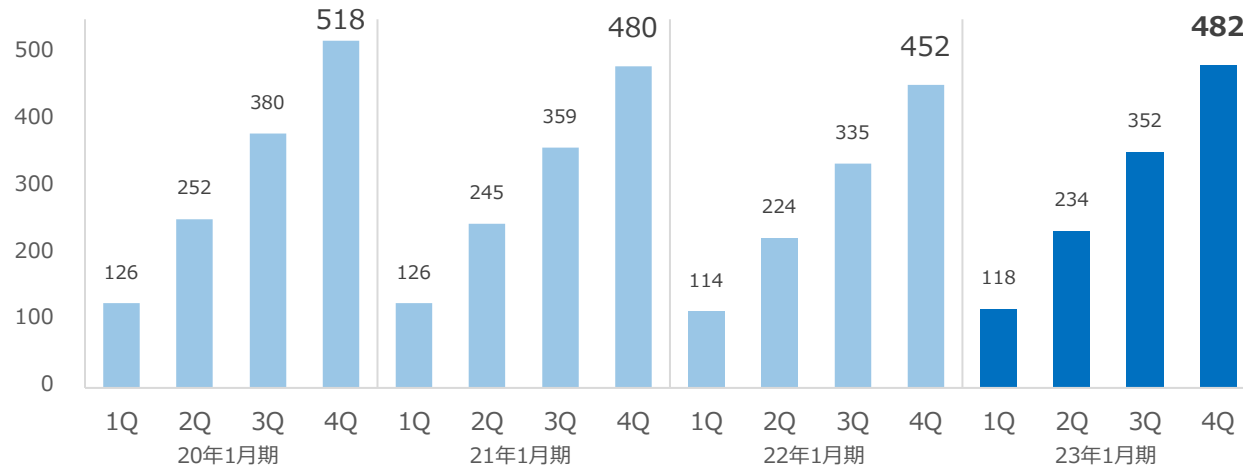
(単位：百万円)

	2022年1月期	2023年1月期	増減額	増減率	業績予想	予想達成率
売上高	45,220	48,206	+2,985	+6.6%	48,000	100.4%
営業利益	4,206	4,374	+167	+4.0%	4,500	97.2%
同率	9.3%	9.1%	(▲0.2)	—	9.4%	—
経常利益	4,282	4,413	+130	+3.1%	4,540	97.2%
同率	9.5%	9.2%	(▲0.3)	—	9.5%	—
当期純利益	3,039	5,179	+2,140	+70.4%	5,200	99.6%
同率	6.7%	10.7%	(+4.0)	—	10.8%	—

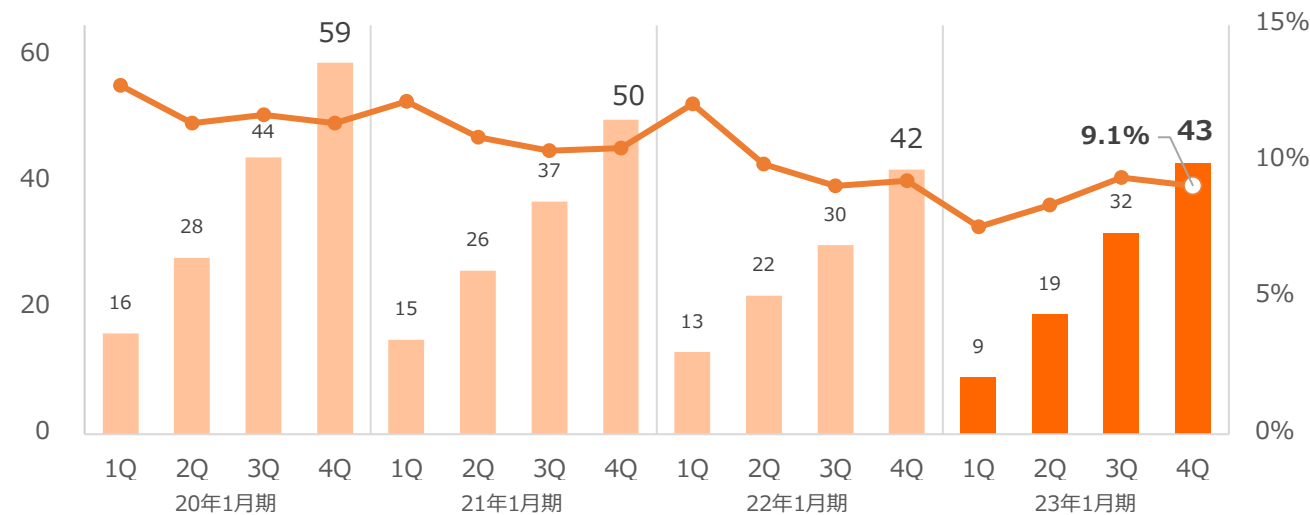
※「当期純利益」は「親会社株主に帰属する当期純利益」を示す(以降同様)

※「収益認識に関する会計基準」等を適用し、当連結会計年度の影響額は売上高が387百万円増加、営業利益・経常利益および税金等調整前当期純利益がそれぞれ68百万円増加

■ 売上高推移 (億円)



■ 営業利益・利益率推移 (億円・%)



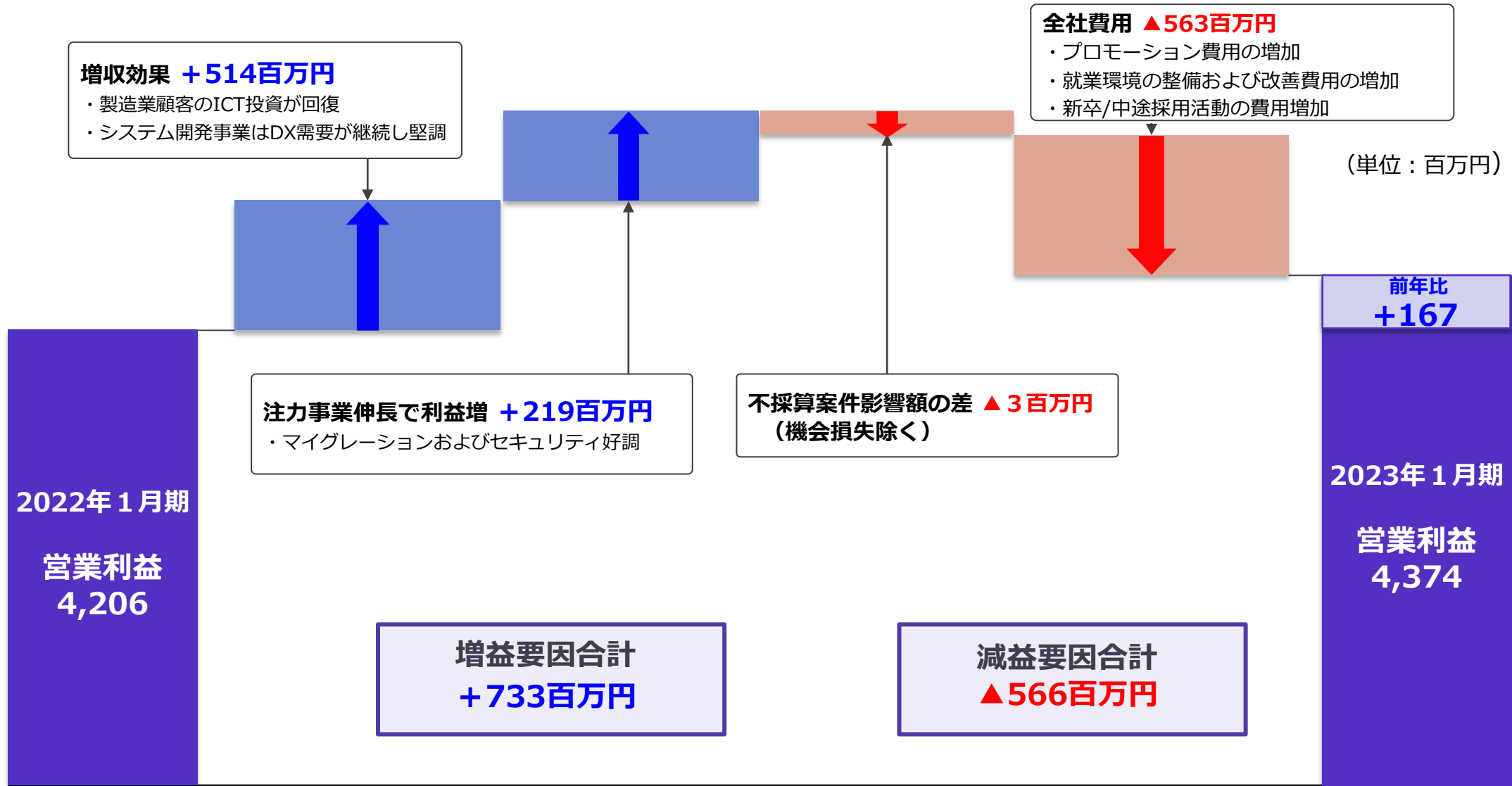
売上高

- 製造業顧客のICT投資が回復し増収
- システム開発系の事業はDX需要が堅調
- セキュリティ分野は需要旺盛で好調
- グループ会社はニアショア開発が堅調

営業利益

- 売上増加に伴う利益増
- 注力事業伸長による利益率の向上
- 販促強化のための全社費用の増加
- 前期に発生した不採算案件の影響が継続し、1Qおよび4Qで受注損失引当を追加計上

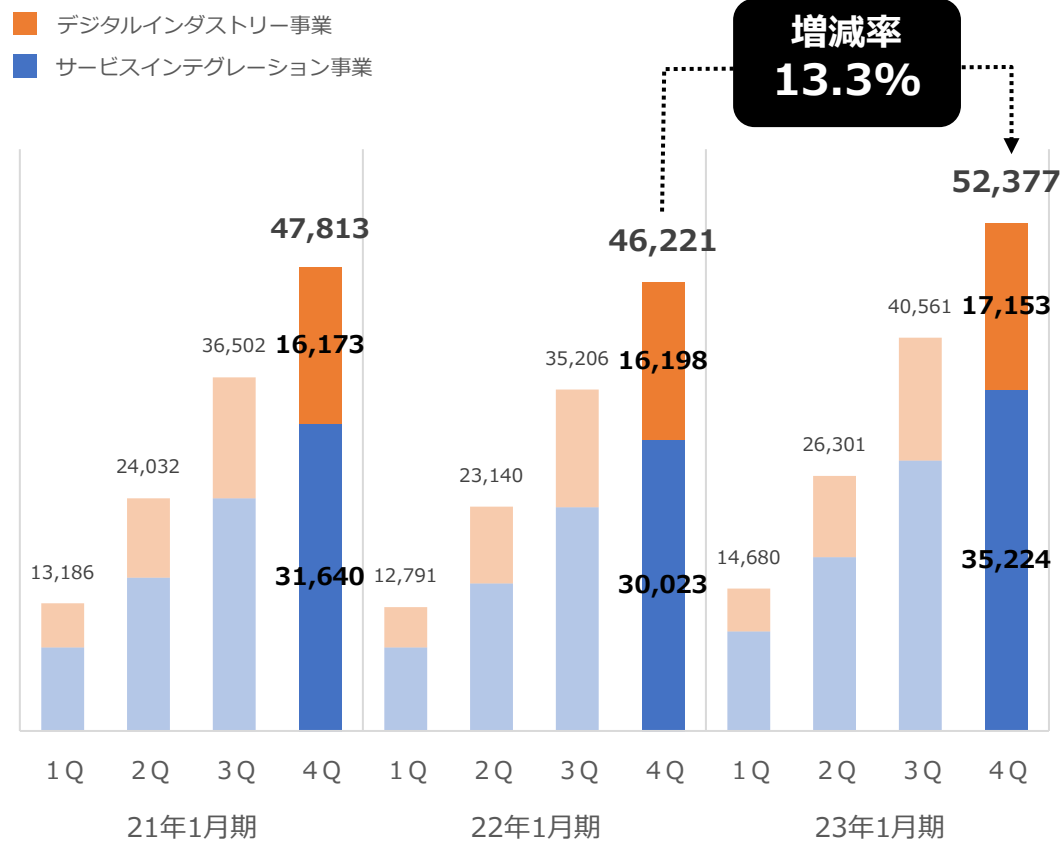
連結営業利益の主な増減要因



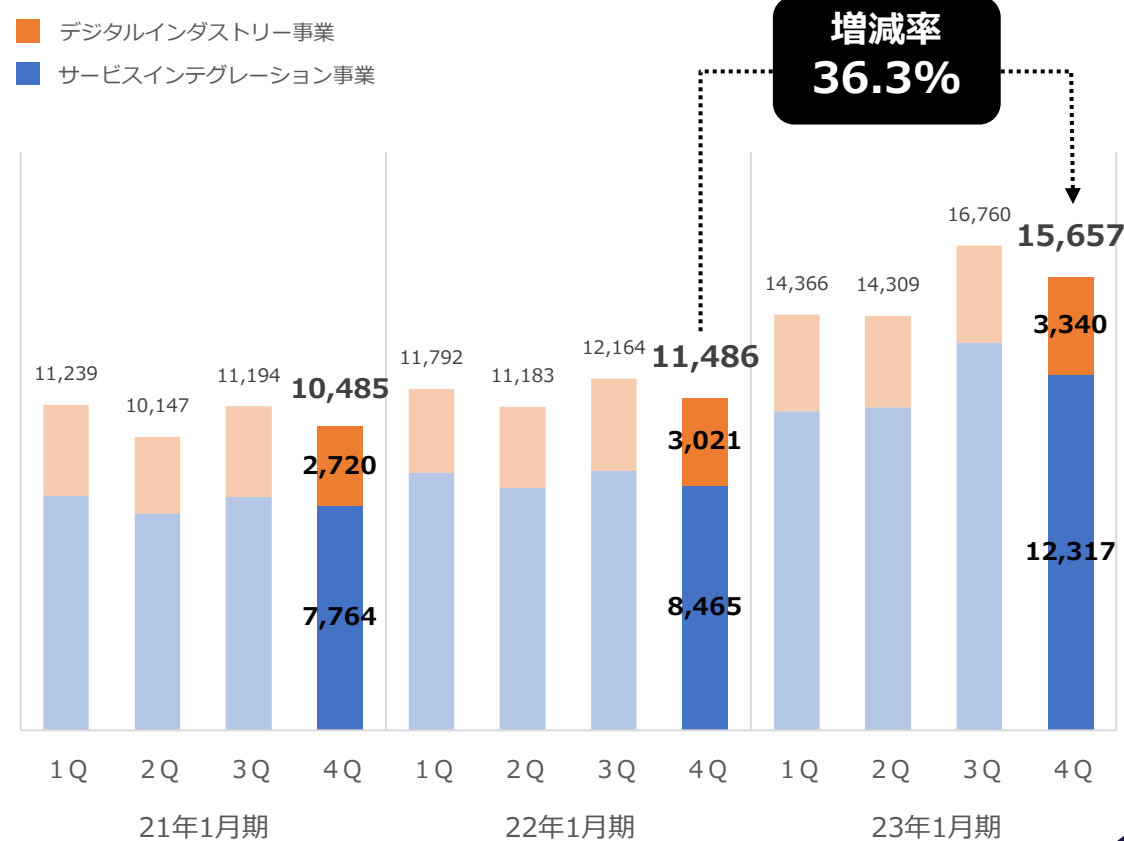
受注高・受注残高の推移

■ システム開発事業商談は堅調、インフラ構築事業商談の増加

受注高推移 (百万円)



受注残高推移 (百万円)



事業セグメント別前年比較

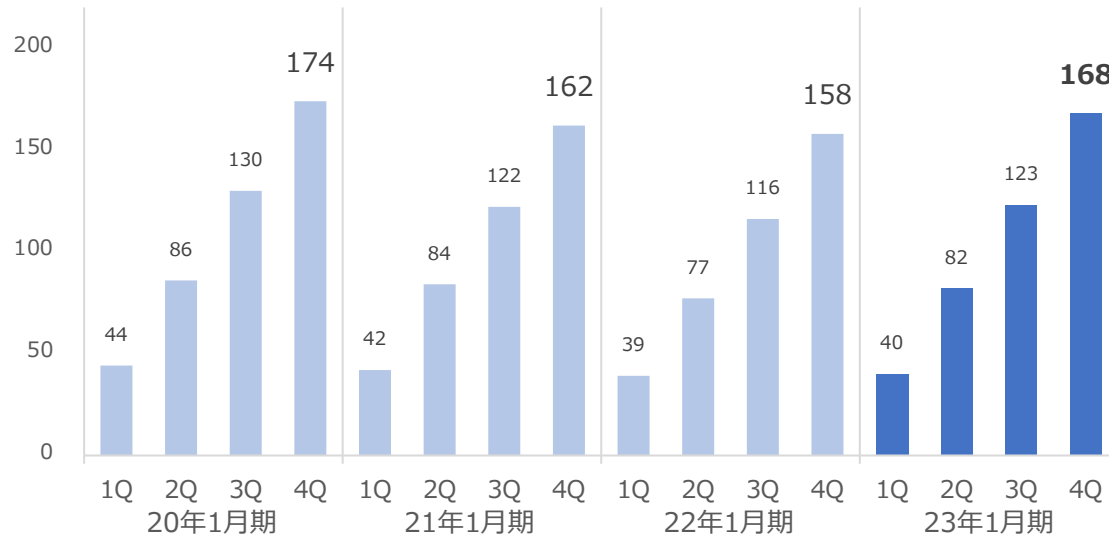
- デジタルインダストリー事業は、製造業顧客のICT投資回復により業績が改善し増収増益
- サービスインテグレーション事業は、DX推進によるマイグレーションやセキュリティが好調に推移し増収、営業利益は不採算案件の影響が継続したために前年並みの微増に留まる (単位：百万円)

	2022年1月期		2023年1月期		増減額	
	売上高	営業利益 利益率	売上高	営業利益 利益率	売上高 (増減率)	営業利益 (増減率)
デジタル インダストリー事業	15,897	3,153 19.8%	16,834	3,857 22.9%	+936 (+5.9%)	+704 (+22.3%)
サービス インテグレーション事業	29,322	4,546 15.5%	31,372	4,573 14.6%	+2,049 (+7.0%)	+26 (+0.6%)
全社費用	—	▲3,493	—	▲4,057	—	▲563
合計	45,220	4,206 9.3%	48,206	4,374 9.1%	+2,985 (+6.6%)	+167 (+4.0%)

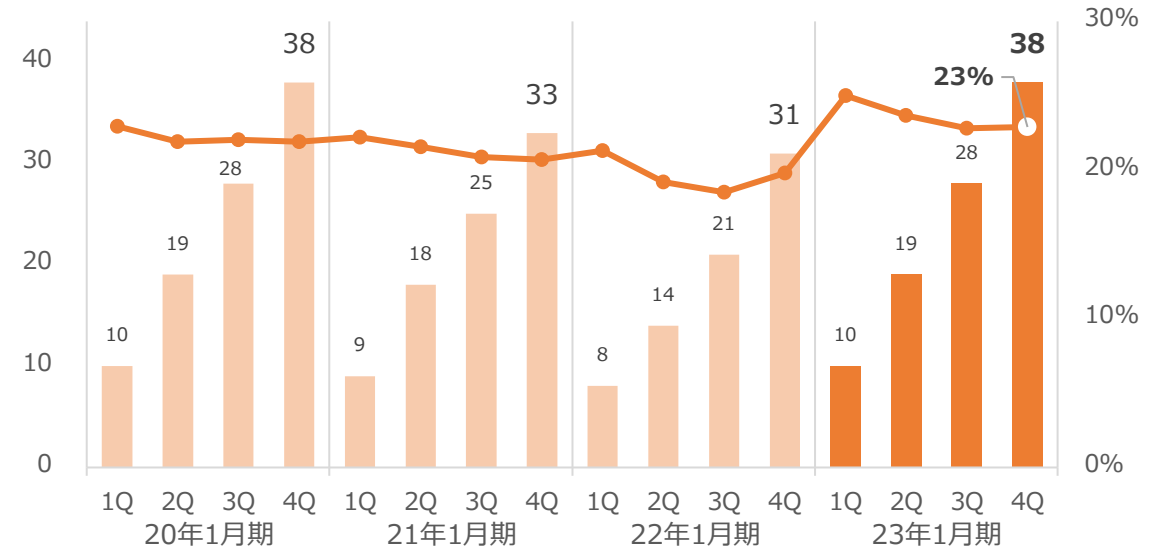
※「収益認識に関する会計基準」等の適用による当連結会計年度の影響額は、「デジタルインダストリー事業」売上高：167百万円増加、セグメント利益：40百万円増加
「サービスインテグレーション事業」売上高：220百万円増加、セグメント利益：27百万円増加

デジタルインダストリー事業

■ 売上高 (億円)



■ 営業利益・営業利益率 (億円・%)

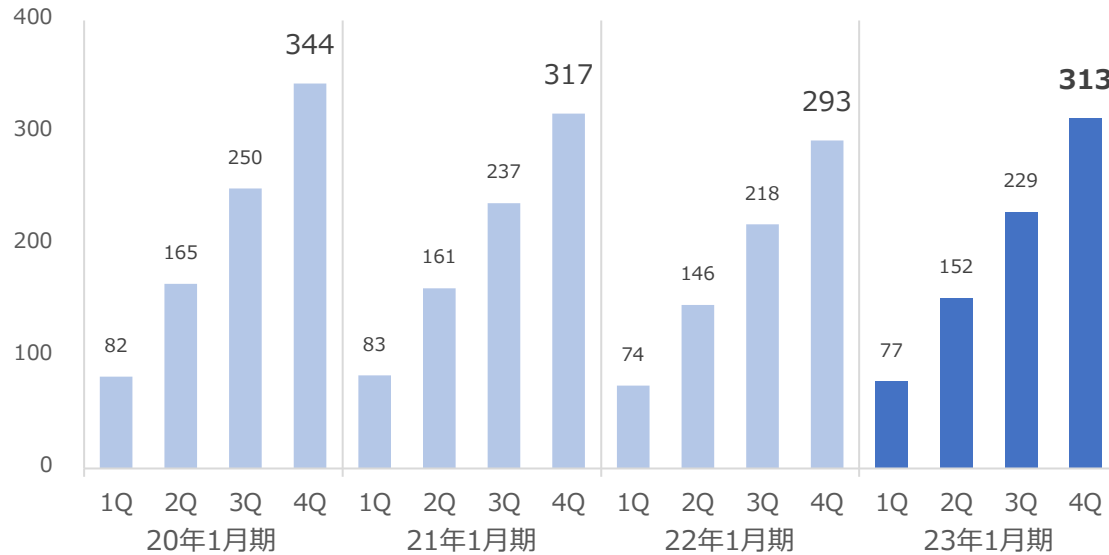


事業区分	売上 天気図	ポイント
スマートファクトリー		● 商談化までは長期化するが、生産現場のDXは活性化し引き合いは回復傾向
コネクティッドサービス		● 一部顧客の内製化はあるものの、モビリティ領域は堅調
中部地区		● 4Qで一部商談の延伸があったものの、主要顧客のICT投資は堅調
西日本地区		● 物流での製品・サービス系の伸長に加え、既存システム開発も好調に推移

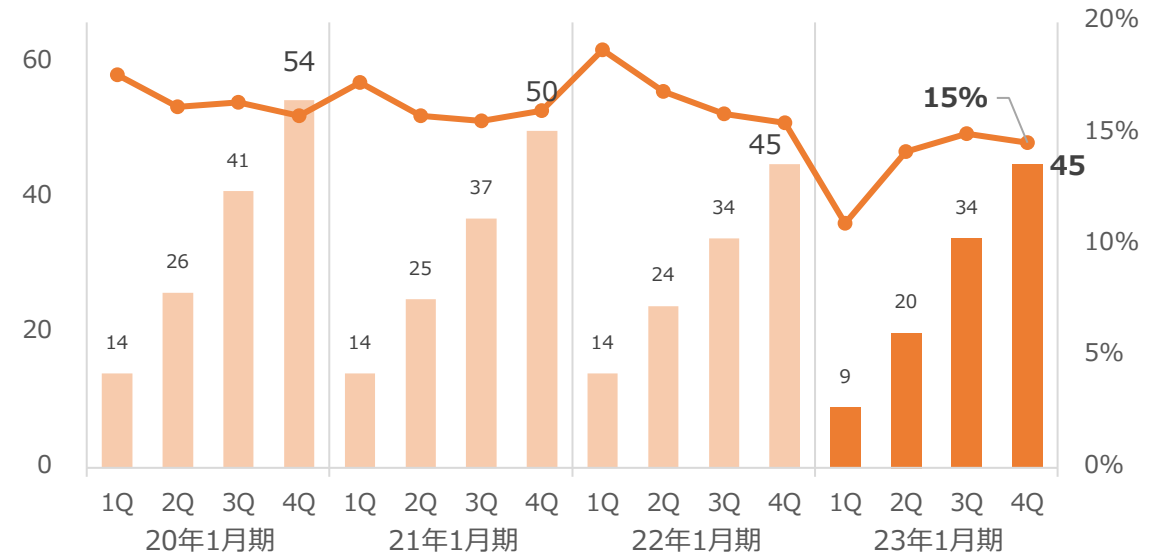
※お天気マーク定義 : 前期比10%以上増 : 0-10%増未満 : 0-10%減以下 : 10%より減 以降ページも同様

サービスインテグレーション事業

■ 売上高 (億円)



■ 営業利益・営業利益率 (億円・%)



事業区分	売上 天気図	ポイント
サービスインテグレーション		● 不採算案件の影響は継続しているが、DX推進でマイグレーション事業は好調
プラットフォームアーキテクト		● 官公庁のセキュリティ分野は好調、インフラ構築事業は半導体影響から回復傾向
グループ会社		● 各社で濃淡はあるものの、ニアショア開発や運用・保守が堅調

業種別売上高前年比較

(単位：百万円)

	2022年1月期 実績	2023年1月期 実績	前年比		業種別のポイント
			増減額	増減率	
製造業 (構成比)	20,316 (44.9%)	21,333 (44.3%)	+1,017	+5.0%	【製造】 主要顧客のICT投資は堅調
通信・情サビ業 (構成比)	10,989 (24.3%)	12,700 (26.3%)	+1,710	+15.6%	【通信・情サビ】 DX推進支援や 協業ビジネスが伸長
金融業 (構成比)	5,192 (11.5%)	4,605 (9.6%)	▲586	▲11.3%	【金融】 一部顧客における 特需剥落で前年比減
流通業 (構成比)	2,513 (5.6%)	2,989 (6.2%)	+476	+19.0%	【流通】 セキュリティ・物流サービス 需要が増加
官公庁 (構成比)	2,087 (4.6%)	1,999 (4.1%)	▲87	▲4.2%	【官公庁】 セキュリティ事業は好調も、 インフラ更改案件の谷間で減収
その他 (構成比)	4,121 (9.1%)	4,576 (9.5%)	+455	+11.0%	
合計	45,220 (100%)	48,206 (100%)	+2,985	+6.6%	

貸借対照表前年度末比較

(単位：百万円)

	2022年 1月末	2023年 1月末	前年度末比	
			増減額	増減率
流動資産	34,060	35,208	+1,148	+3.4%
現預金	22,430	23,302	+871	+3.9%
固定資産	11,087	11,124	+37	+0.3%
有形固定資産	6,567	6,615	+47	+0.7%
無形固定資産	244	258	+13	+5.6%
投資その他の資産	4,275	4,251	▲24	▲0.6%
負債合計	9,411	8,954	▲457	▲4.9%
流動負債	8,310	8,311	+0	+0.0%
固定負債	1,100	642	▲457	▲41.6%
純資産合計	35,736	37,379	+1,642	+4.6%
負債・純資産合計	45,147	46,333	+1,185	+2.6%

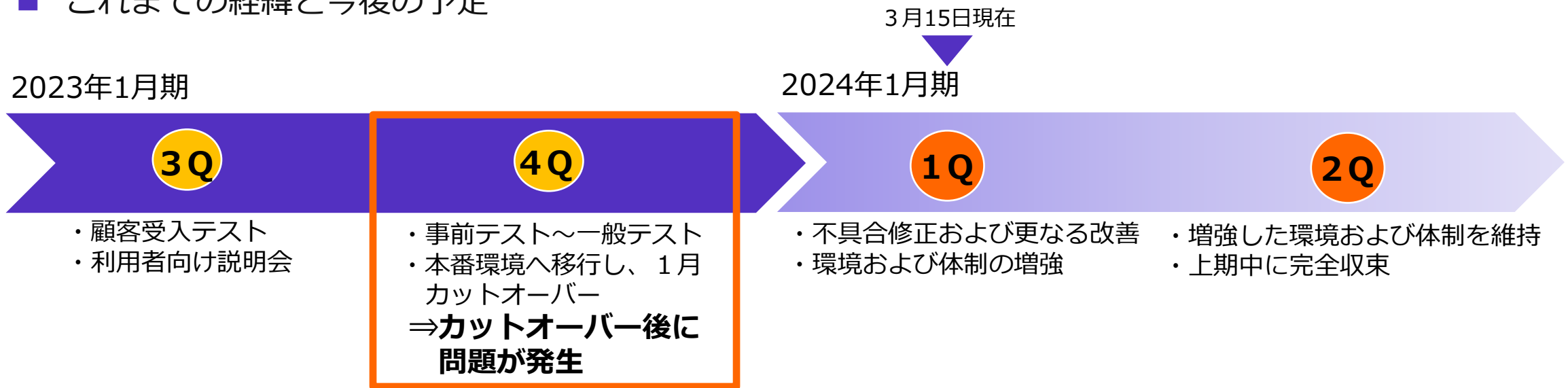
ポイント
【資産】 増加 現預金増加
【負債】 減少 長期未払金減少
【純資産】 増加 自己株式取得で減少も 利益剰余金増加
自己資本比率
78.7%→ 80.5%

不採算案件の状況と今後の予定

■ 不採算案件の対応状況

- 事前テスト～一般テストは計画どおり完了し、本番環境への移行をもって**カットオーバー**
- カットオーバー後に**環境差異による問題**が発生、環境および体制増強のため**受注損失引当385百万円を追加計上**
- 現在は**安定稼働中**。更なる改善に向けて体制を維持して対応中、**上期で完全収束**

■ これまでの経緯と今後の予定

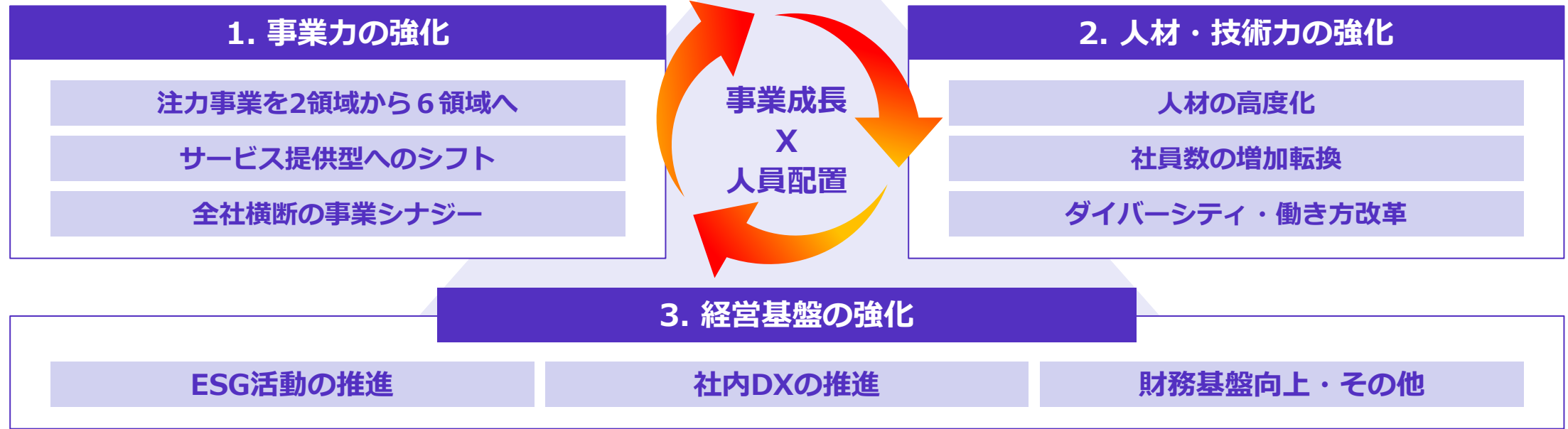


※前期の経緯は、2022年6月10日公表の「2023年1月期第1四半期決算補足説明資料」をご参照ください。

※2024年1月期1Q以降の予定は、プロジェクト進捗状況によって変更となる可能性もございます。

中期経営計画 進捗状況

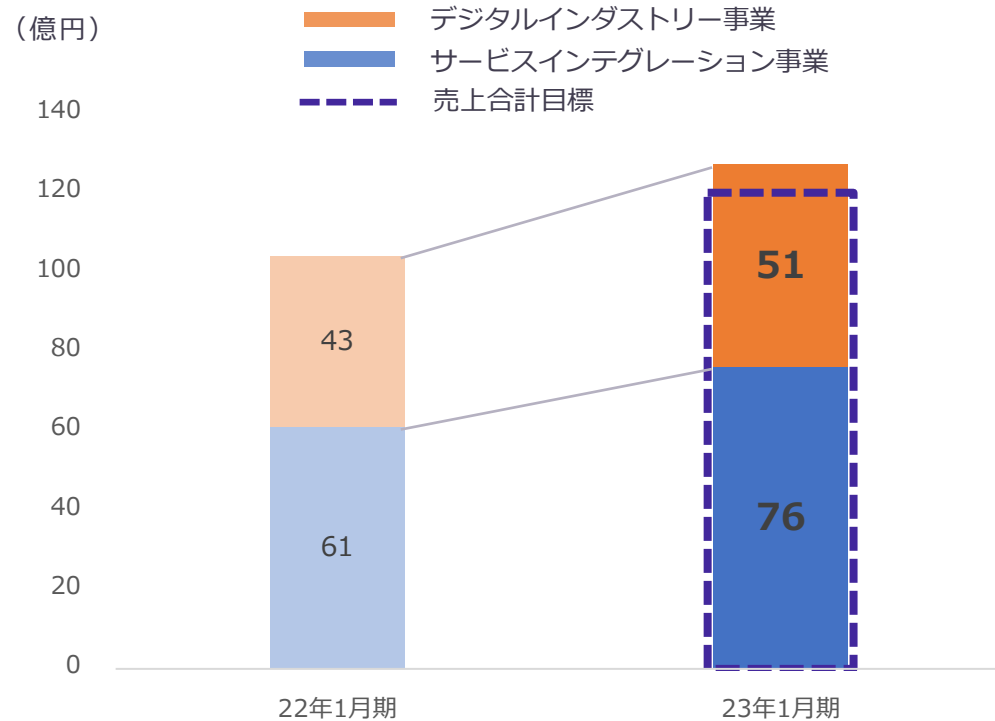
Vision 2025 「ICT技術で未来を創る企業」へ



	売上高	経常利益	経常利益率	ROE・配当性向
経営指標の目標値	560億円	69億円	12%以上	ROE：12%以上 配当性向：40%以上

注力事業進捗状況

■ 注力事業は通期目標に対し計画上振れで着地

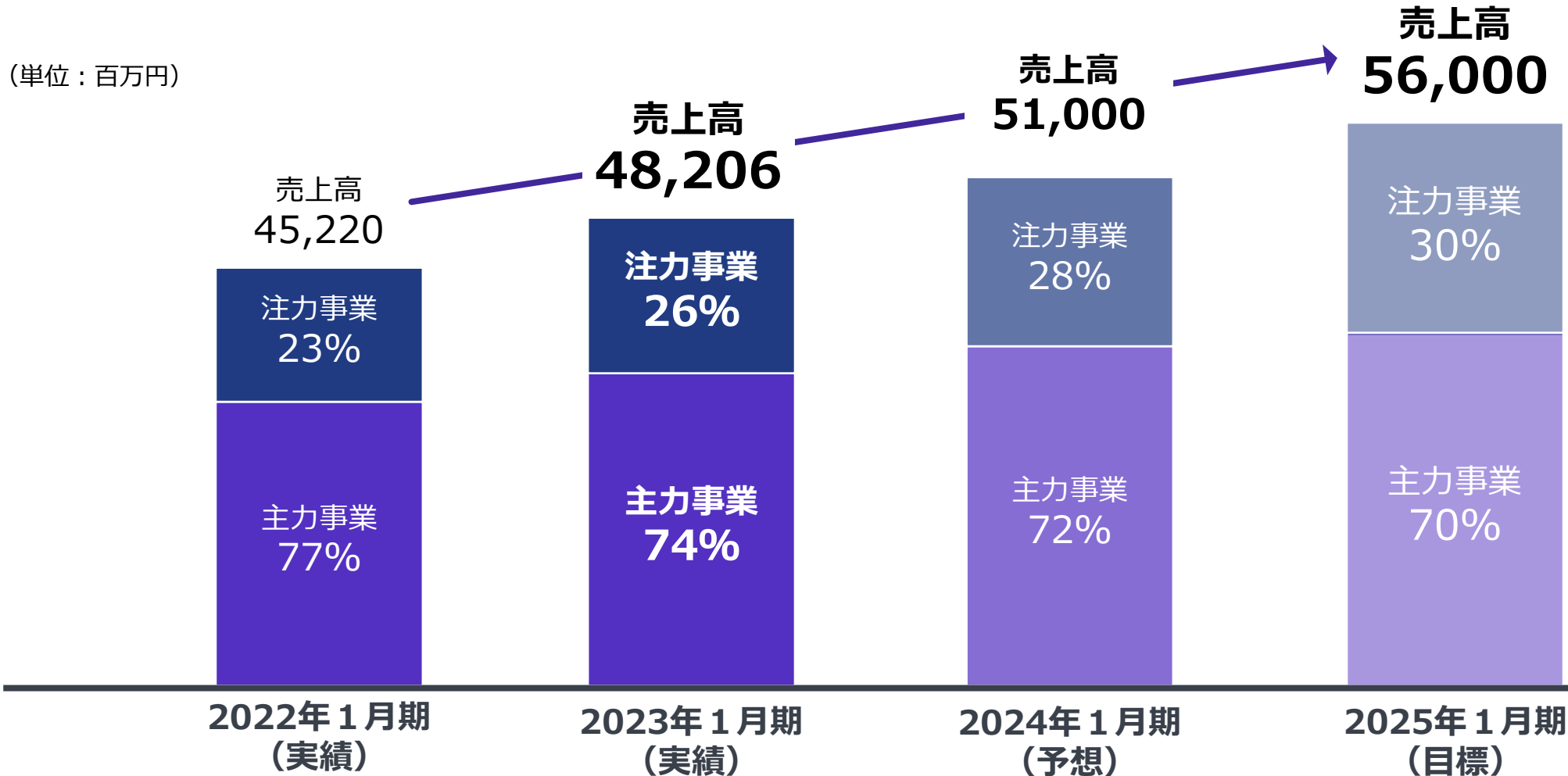


23年1月期	売上高 (目標)	120億円
	売上高 (実績)	127億円
	達成率	106%

デジタルインダストリー事業	生産・物流ソリューション	Visual Factory® LogiPull®	生産DXの取り組みが活性化も顧客の検討期間は長期化
	モビリティサービス	PlusLocation. SimuField®-SC	クラウド開発商談は堅調継続
サービスインテグレーション事業	マイクロソフト連携サービス	<small>マイクロソフトクラウドサービス統合ソリューション</small> Convergent®	CRMやローコード開発などの商談が豊富
	マイグレーションサービス	<small>マイグレーションサービス</small> Re@nove リノーフ	クラウド移行やサポート切れプログラム言語対応で活況
	セキュリティサービス	<small>トータルセキュリティソリューション</small> CyberNEXT®	セキュリティサービス商談(コンサル、導入&監視)が活況継続
	DXクラウド基盤	BizVision®	設計～実装および実機検証中

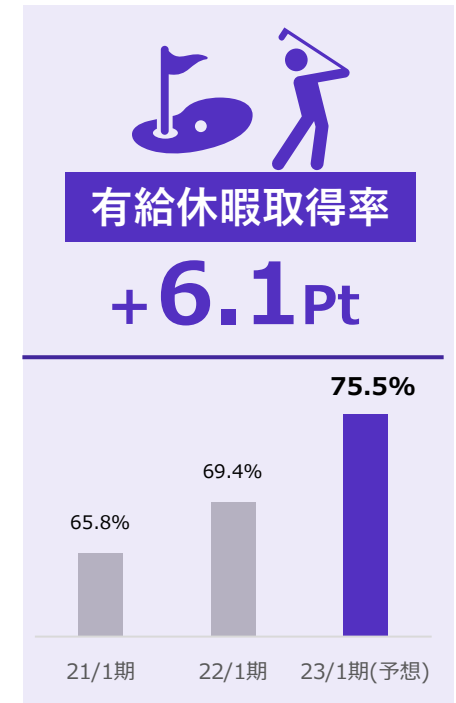
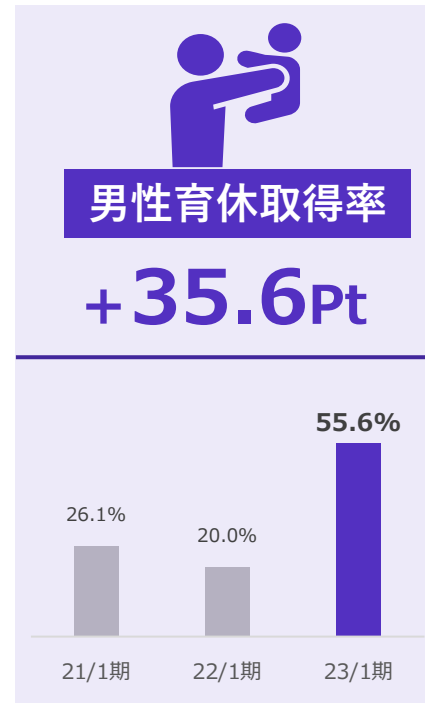
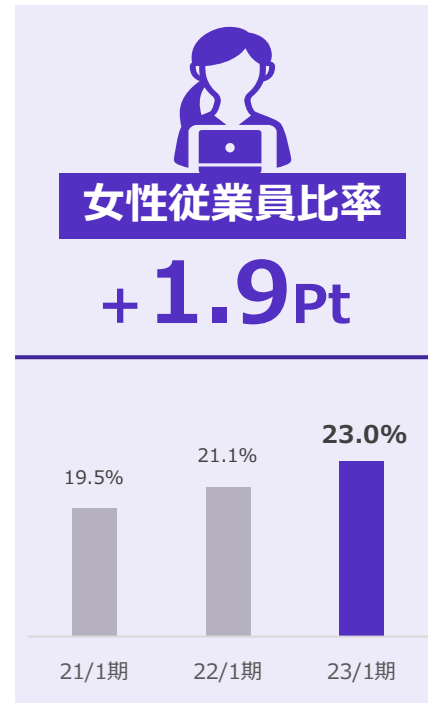
売上構成比目標に対する進捗状況

- 主力事業の着実な成長と注力事業の基盤確立と領域拡大



サステナビリティ経営推進状況

- 持続的な企業価値向上を目指し経営基盤の強化
 - 上期5円増配し通期で40円→45円に変更
 - 約20億円の自己株式取得を実施
 - TCFD提言賛同表明、ISO14001認証追加取得、障がい者スポーツ支援
- 社員数純増への転換・ダイバーシティや働き方改革を推進



2024年1月期 業績見通し

通期業績予想前年比較

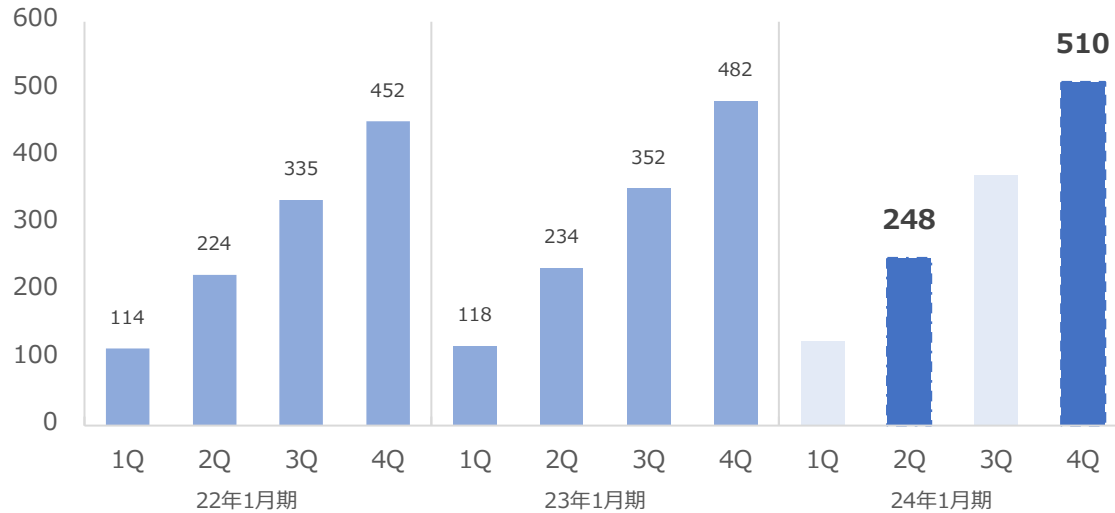
- 主要顧客の堅調なICT投資需要を着実にとらえて目標達成を目指す
- 投資有価証券売却益の剥落により当期純利益は減益見通し

(単位：百万円)

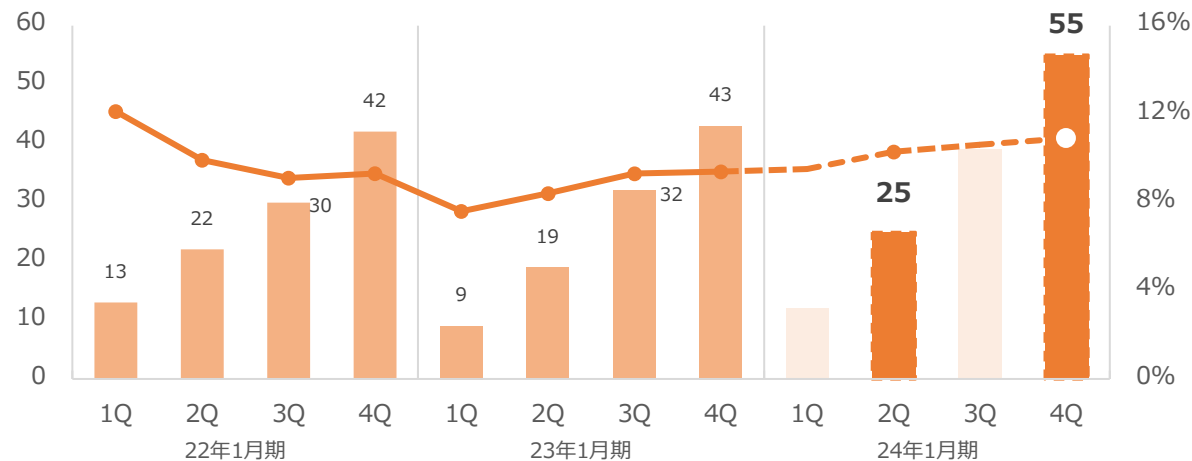
	2023年1月期実績	2024年1月期予想	増減額	増減率
売上高	48,206	51,000	+2,793	+5.8%
営業利益	4,374	5,550	+1,175	+26.9%
同率	9.1%	10.9%	(+1.8)	—
経常利益	4,413	5,570	+1,156	+26.2%
同率	9.2%	10.9%	(+1.7)	—
当期純利益	5,179	3,840	▲1,339	▲25.9%
同率	10.7%	7.5%	(▲3.2)	—

通期業績予想とポイント

■ 売上高 (億円)



■ 営業利益・利益率 (億円・%)



売上高

- 全社横断的なクロスセルおよびアップセルによる主要顧客への深耕で新規商談を開拓
- 注力事業の製品サービスを拡販推進
- グループ間連携でニアショア開発の強化

営業利益

- 高収益商談の獲得、サービスシフトの推進
- 電気代や物価高騰を反映した製品サービスメニュー改定
- 不採算案件の発生を抑制

事業セグメント別通期業績予想

- デジタルインダストリー事業は、製造業顧客のICT投資は引き続き堅調の見通し
- サービスインテグレーション事業は、不採算案件の影響が上期中は残るもののDX推進やセキュリティ需要は好調な見通し

(単位：百万円)

	2023年1月期実績		2024年1月期予想		増減額	
	売上高	営業利益 利益率	売上高	営業利益 利益率	売上高 (増減率)	営業利益 (増減率)
デジタル インダストリー事業	16,834	3,857 22.9%	18,000	4,000 22.2%	+1,165 (+6.9%)	+142 (+3.7%)
サービス インテグレーション事業	31,372	4,573 14.6%	33,000	5,600 17.0%	+1,627 (+5.2%)	+1,026 (+22.5%)
全社費用	-	▲4,057	-	▲4,050	-	+7
合計	48,206	4,374 9.1%	51,000	5,550 10.9%	+2,793 (+5.8%)	+1,175 (+26.9%)

デジタルインダストリー事業通期業績予想

■ 売上高・営業利益

		2023年1月期実績	2024年1月期予想	
			通期	増減率
デジタルインダストリー事業	売上高	168億円	180億円	+6.9%
	営業利益	38億円	40億円	+3.7%
内、注力事業	売上高	51億円	57億円	+11.8%

事業区分	ポイント
スマートファクトリー	<ul style="list-style-type: none"> ● 工場の生産DX化に向け自社製品を組み合わせたシステム開発（SI）を強化 ● デジタルデータ利活用のためのFA開発支援の強化
コネクティッドサービス	<ul style="list-style-type: none"> ● モビリティ領域のビッグデータ解析、スマホアプリ開発の拡大 ● テスト自動化に対応する環境構築サービスを強化
中部地区	<ul style="list-style-type: none"> ● 主要顧客が推進しているDX化に向けて技術者体制強化 ● DX領域へのリソースシフトにて担当領域拡大を推進
西日本地区	<ul style="list-style-type: none"> ● 物流ソリューションへの新機能追加による流通業を中心とした商談獲得 ● 自社のIoT関連製品・サービスを組み合わせたシステム開発（SI）を強化

サービスインテグレーション事業通期業績予想

■ 売上高・営業利益

		2023年1月期実績	2024年1月期予想	
			通期	増減率
サービスインテグレーション事業	売上高	313億円	330億円	+5.2%
	営業利益	45億円	56億円	+22.5%
内、注力事業	売上高	76億円	85億円	+11.8%

事業区分	ポイント
サービス インテグレーション	<ul style="list-style-type: none"> ● マイクロソフト連携事業のクラウドサービス強化および既存顧客深耕 ● マイグレーション事業のターゲット層拡大による新規顧客開拓
プラットフォーム アーキテクト	<ul style="list-style-type: none"> ● 自社の製品・サービスを中心としたセキュリティ事業の更なる拡大 ● エネルギー価格高騰に対応したデータセンターサービス価格の見直し
グループ会社	<ul style="list-style-type: none"> ● ニアショア開発の新規顧客開拓や大規模案件獲得に向けた営業活動を推進 ● 新製品サービス開発に加え、既存商材の外販力強化に注力

■ 競争力強化に向けて全社営業活動の改革

- 営業改革 : 自社の製品・サービスを組み込んだアカウントプランにて主要顧客へ提案開始
自社の製品・サービス拡販に向けた販売代理店強化として、新たな「パートナー制度」を新設し、共創関係を構築

■ 採用強化と定着率向上・働き方改革

- 採用計画 : 新卒80名、中途60名以上
最終年度目標150名純増に向けて採用強化
- 定着率向上 : 若手から中堅層の満足度向上を図るべく、新人事制度の導入ならびに待遇改善を実施
再雇用待遇の改善を図り、熟練の技術者を維持
- 働き方改革 : 男性育休取得の推奨や仕事と介護の両立を支援など

■ 配当による株主への利益還元強化

- 利益還元強化 : 普通配当を10円増額し、50円の配当予定

■ 環境配慮への取り組みで専門機関の評価アップ

- 脱炭素化 : 空調効率改善や“再生可能エネルギー”電力への変更にてCO₂排出量削減に向けた取り組み
- ISO14001 : 首都圏以外の全国主要拠点で認証を追加取得

■ 個性と能力をフルに発揮できる職場環境づくり

- 健康経営推進 : 健康経営優良法人認定を2023年3月に取得
ホワイト500取得に向けて更なる就業環境の向上

- ✓ 本資料は、投資を勧誘することを目的として作成されたものではありません。
- ✓ 本資料に含まれる将来の業績に関する見通しは、日本経済や情報サービス産業の動向、その他本資料作成時点において入手している情報による判断及び仮定により、算出しております。従いまして、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により変動する可能性があることをご承知おきください。

【お問い合わせ先】

株式会社シーイーシー

コーポレート統括本部 事業推進本部 経営企画部 IR担当

TEL : 03-5789-2442

コーポレート統括本部 管理本部 経理部 IR担当

TEL : 046-252-4111

E-mail : IR@cec-ltd.co.jp

名称 株式会社シーイーシー
Computer Engineering & Consulting Ltd.

設立年月日 1968年2月24日

上場取引所 2022年4月（プライム市場）
2001年7月（東証一部）

資本金 65億8千6百万円

売上高 482億6百万円（2023年1月期）

- 各種許認可**
- 経済産業省システム監査企業台帳登録企業
 - 経済産業省情報セキュリティサービス台帳登録企業
 - プライバシーマーク認定事業者11820032（12）

- JQA認定
 - ・ 品質マネジメントシステム
ISO9001:2015（登録証番号JQA-1481）
 - ・ 情報セキュリティマネジメントシステム
ISO/IEC27001（登録証番号JQA-IM0007）
 - ・ クラウドサービス情報セキュリティマネジメントシステム
ISO/IEC27017（登録証番号JQA-IC0040）
 - ・ ITサービスマネジメントシステム
ISO/IEC20000（登録証番号JQA-IT0005）
 - ・ 環境マネジメントシステム
ISO14001:2015（登録証番号JQA-EM7701）

- 電気通信工事業 国土交通大臣（般-4）第28700号
（許可年月日：2022年11月21日）

従業員数 2,273名（2022年4月1日現在）

連結子会社 8社

本社事務所 〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1-5-5 JR恵比寿ビル

代表者 代表取締役社長 姫野 貴

事業内容 ■ **デジタルインダストリー事業**

製造業のお客様を中心に、業務の効率化や品質の向上、魅力ある製品づくりを支援するICTサービス・製品を提供。

■ **サービスインテグレーション事業**

企業・組織の業務改革・改善に必要な、ICTライフサイクル全般を支援。クラウド、セキュリティ含むICTサービス・製品をトータルで提供。

サステナブルな社会実現に貢献する2つの事業

デジタルインダストリー事業 Digital Industry 製造業特化の ICT パートナー	サービスインテグレーション事業 Service Integration ICT のトータルインテグレーター	
社会課題への取り組みを通じた ESG 経営の推進およびお客様の事業発展へ貢献		
スマート工場化で進む ICT ニーズ		ICT インフラ全般のノウハウ
お客様の IoT 導入、PoC 拡大		自社 DC、クラウド連携基盤
AI、IoT、センシング技術		業種・業務特化型システム
FA 制御、ロボット・設備のノウハウ蓄積		進化するセキュリティ脅威からの防御